

時代は、人がつくる。 人は、学んでつくられる。

Let's begin !

幼児～低学年の指導は、
教育と塾経営を変えます。

詰込み教育

スパルタ式一斉指導、

ゆとり教育

質問呼応型個別指導、

そして、「生きる力教育」の

グローバルリーダーを育成する

スーパー教育[®]です。



わが国は、これからの産業や経済の中核となる AI や IoT の研究開発やインフラの整備の先進国における大幅な立ち遅れのために、経済大国としての国際的な地位が危うくなりかけています。そのために、わが国（文科省）は、遅れを取り戻し、これからの日本を牽引する有用な人材「グローバルリーダー」の育成に本気で取り組み始めました。

理系教科に読解力が問われた大学入学共通テスト、そして、今回の中学校の英語の教科書改訂、それらの目指す方向は、大阪府立高校の GLSH や文科省の WWL コンソーシアムに代表されるグローバルリーダーの育成です。

時代が変われば、教育が変わります。教育（学習指導要領）が変われば、公教育に代わって、市場（保護者）の要求に応える私教育（塾）に求められる教育は変わります。

詰込み教育時代の「スパルタ式一斉指導」、ゆとり教育時代の「質問呼応型個別指導」、学習指導要領が変われば、それに応じて保護者から求められる教育のスタイルは変わります。変革の時期は、その先行きを見極めることが肝要です。そこに、経営と教育を変える“大きなチャンス”と知育教育のプロとしての“使命”があります。

今、この国と保護者が求めるグローバルリーダーの育成は、大手塾も含めて最低基準に合わせた文科省の横並び教育の補完に終始する既存の塾ではできません。

グローバルリーダーには、圧倒的な学力（知識や技能、思考力・判断力・表現力、積極的に課題に向き合う姿勢）や豊かな人間性やタフな人間力が必要です。それらは、これまでの最低基準に合わせた義務教育では実現できません。自立を推進し、個々の能力に応じて、何処までも自由に高めることのできる学習スタイルでなければいけません。そして、あらゆる学びと人の基盤を育む国語の読解力の強化を可能とする教育が必要です。

グローバルリーダーを育む「飛び級」と「国語教育」の強化は、スーパー教育[®]ならムリなく実現できます。そして、その学びは、わが子の未来を学力に託す優良な保護者を惹きつけ経営を劇的に変化させ、塾をやり甲斐のある有能な人材の集まるホワイト産業に変えます。

生きる力教育と塾

－ 令和の時代に求められる教育とは －

教育の目的は、「人格の完成」から「有用な人材（グローバルリーダー）の育成」へ

人格の完成 … 教育基本法〔昭和 22 年制定・平成 18 年改訂〕に示された。

有用な人材の育成 … 令和元年の教育再生実行会議第 11 次提言に示される。

少子化そして推薦入試の横行、そして今回のコロナによる休校や形だけのオンライン授業による学習離れのために、学校授業の補習や試験対策に終始する塾の市場はますます縮小すると思われます。しかし、激変する社会の要求に応え、保護者の夢を叶える教育は、その数は減りますが、教育投資を理解する優良な保護層に確実に必要とされます。

変わり行く時代をしっかりと捉え知育教育のプロである私教育の責任者として、凛としてその責務を果たされて下さい。そこに、ビジネスとしての勝機も必ず見えてきます。

今なら、大手の牙城を崩すことができるかも知れません。いや、こども達とこの国の未来を考えるならリーダー教育に不可欠な自立心の育成とは程遠い受け身の人間教育を行う現行教育ではいけません。教育のパラダイムシフトを起こさなければいけません。

これからの国家に有用な人材（グローバルリーダー）の育成のための教育そしてビジネスのキーワードは、自分の意志で自由闊達に学ぶ「**自読考[®]**」と圧倒的な学力を生む 3 学年以上の先取り学習「**スーパー飛び級[®]**」と人と学びの根っこを育む「**国語（読解）教育の強化**」、そして、それらを楽々と実現する「**幼児～低学年の指導強化**」と時間の余裕を生み、学びを習慣とする「**毎日、学ぶ!**」です。

自分の意志で学ぶ自読考[®]だからできる

－ 幼児～低学年の指導について －

《幼児～低学年の学び》

三つ子の魂の教育 / 母語の確立 / 人格の基盤（思考力・判断力・表現力）の構築 / スーパー飛び級[®]

人間性や人格が固まっていない 3 歳から 9 歳の間であれば人と学びの基盤を育むことができます。特に、リーダーとしての資質や能力の習得に対して特別な感受性を持つ幼児期に正しい方法でチャレンジすれば、望むすべてのこども達にグローバルリーダーとしての資質や能力の習得を習得させることができます。幼児の指導のポイントは、これまでの教育が見過してきた本能的な理解です。

特別な学びに対する感受性（圧倒的な集中力と驚異的な吸収力）を活かす

人として成長するためにコミュニケーション・ツールとしての言葉（国語）や論理的な思考力の基となる数字（算数）を、幼児が学びたがるのは本能です。よって、安心安全な環境があればひた向きに集中して学びます。したがって、本能的な自分でヤルを活かすスーパー教材を用いれば、どの年齢層よりも楽な指導が実現できます。また、学びの本能が妨げられているこどもでも、保護者の理解と協力が得られれば修復可能です。

それに、学びに対してネガティブな感情をもたない幼児は、スイスイと知識を習得します。しかし、小学校に入学すると、受け身になる教授や間延びしたカリキュラムのために、こども達は、学びの感受性を失います。したがって、それを防ぐためには、飛び級で圧倒的な学力と教師に潰されない学びに対する絶対の自信を身につかせます。

＝ 自分で学ぶスーパー教材を使えば、幼児～低学年の指導は簡単です。＝

理由：①スーパー教材は、元々教える必要がない家庭用教材です。②お母さんが、寄り添えばこどもが喜んで学ぶ教材です。

この 2 つの特性を活かせば、教室の学習はもちろんですが、お父さんがこどもの教育に協力的なこの時代であれば在宅での学習が楽々と実現します。そうなれば、飛び級は一気に加速します。それに、学びを介して未来のリーダーの苦境を支える「絶対の信頼」を育む新たな「親子の絆」を構築していただけます。言うまでもありませんが、プロである我々はそれ以上の指導ができるはずで

優良な保護者を獲得する

－ 幼児～低学年の集め方 －

《授業を起点として攻める》

① 保護者が通わせたい教室

保護者が通わせたい（教育投資する）教室とは、スポーツや芸術と同じです。それは、「わが子が特別！」だと思わせてくれる教室です。学びの世界で、わが子が特別だと思わせる方法は、飛び級です。それも 3 学年以上の先取り学習スーパー飛び級[®]です。特に、年齢が下がるほどその効果は抜群です。そして、その思いは、こどもの学びに関心と期待を抱かせ、こどもの学びを加速させる積極的な教室への協力などの教育投資やママ友への口コミを誘発します。スーパー飛び級[®]は圧倒的な学力や得手意識やプライドを育み、こども達を変えるだけでなく教室の運営も変えます

② こども達が通いたくなる教室

こども達、特に幼児や低学年が、通いたくなる教室とは、居心地の良い教室です。それは、自分の行動や存在が認められる環境です。本能は、人としての成長を求めます。よって、その成長が認められることは心地良さをこどもに与えます。だから、教室では、ネガティブな言葉は使わずに、こどもの成長をきめ細かな観察で見つけ肯定的な言葉のシャワーを浴びせて認めてあげるようにします。ちゃんと読めば、高度な問題も必ず自分の力で正解できるスーパー教材なら、心の底から認める（誉める）ことができます。